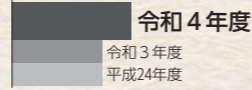
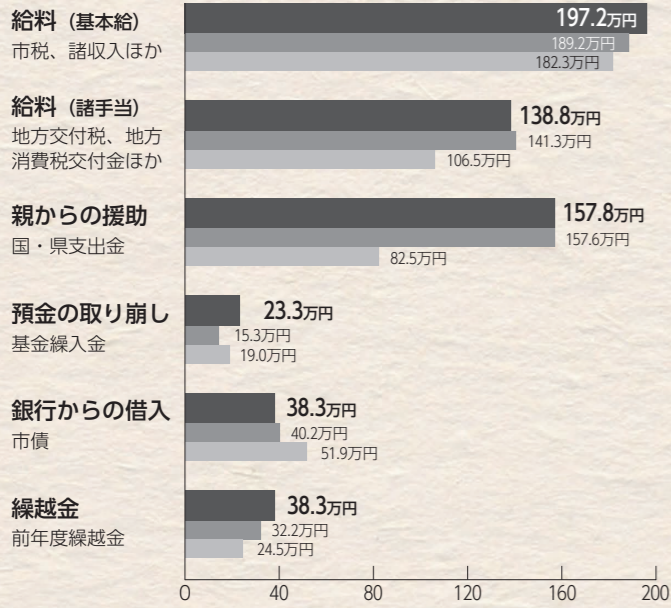


西条さん家の家計簿

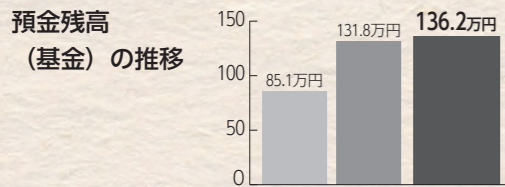
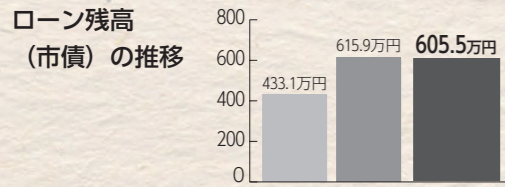
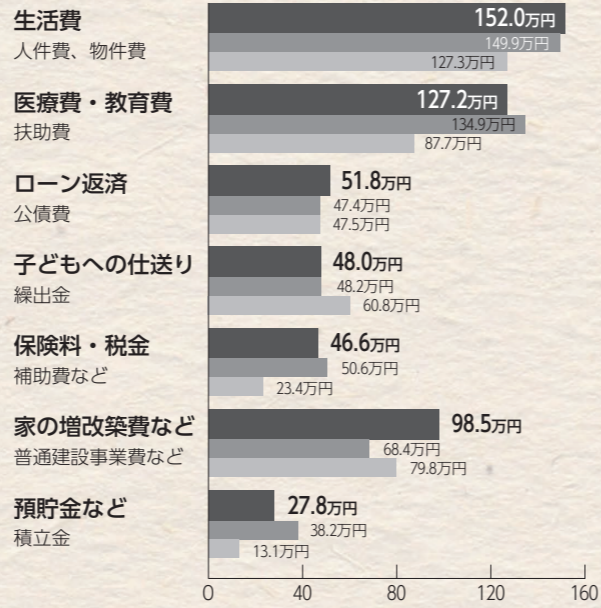
令和4年度の決算と市債・基金残高の一般会計分を1万分の1にして家計簿に例え、昨年度・10年前（平成24年度）と比較してみました。



収入 R4 593.7万円
R3...575.8万円 H24...466.7万円



支出 R4 551.9万円
R3...537.6万円 H24...439.6万円



令和3年度との比較で家計簿を読み解く

収入は、諸手当(地方特例交付金、地方交付税など)が減りましたが、預金の取り崩し(繰入金)などが増えたことから、年収が約18万円増加しました。支出は、預貯金(積立金)や令和3年度に実施した「子育て世帯臨時特別給付金支給事業」の終了などにより医療費・教育費(扶助費)が減りましたが、家の増改築費など(普通建設事業費など)が大幅に増えたことから、約14万円増加しています。

ローン残高(市債)は減り、預金残高(基金)は増えているものの、物価高騰などによる生活費(物件費)の増加や今後増えることが想定される医療費・教育費(扶助費)、過去に借り入れたローンの返済(公債費)の増加を考えると、健全な家計の維持のために、収入に見合った支出の計画を立てる必要があります。

※収入合計593.7万円から支出合計551.9万円を差し引いた金額41.8万円は翌年度の家計に持ち越します

市民1人当たりのお金の使われ方

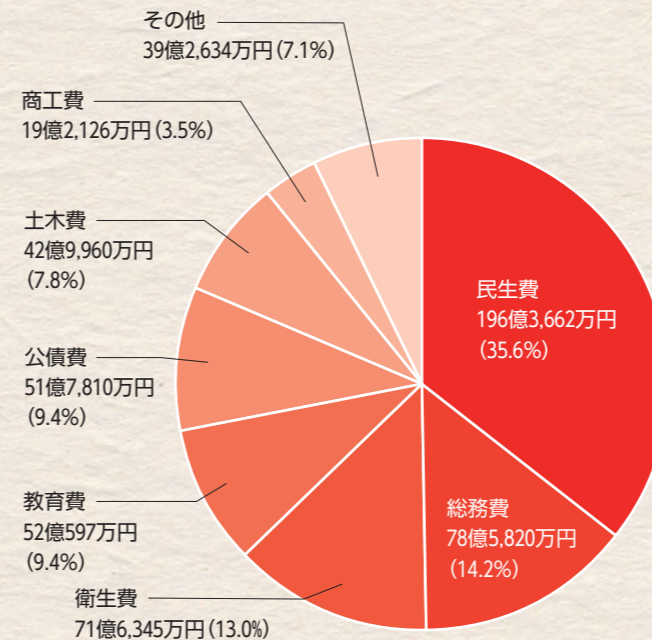
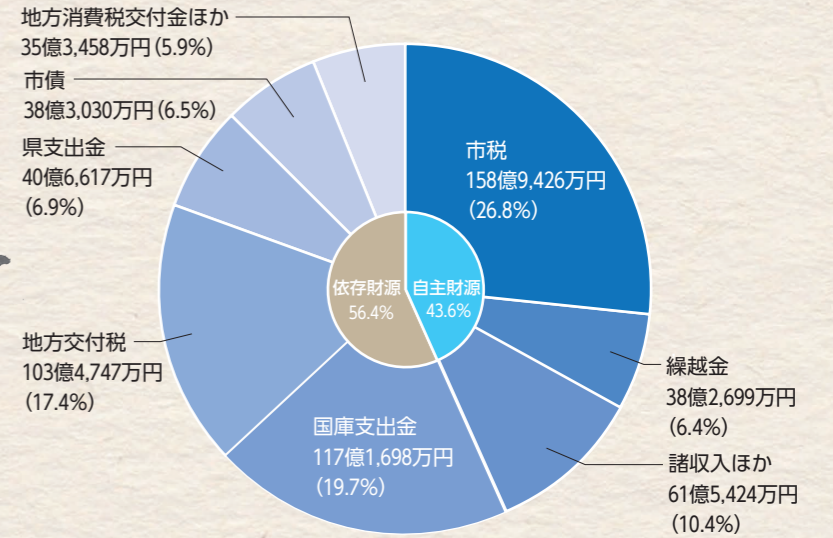
住民基本台帳登録数 104,955人
(令和5年3月31日現在)



令和4年度 西条市の

決算

令和4年度の決算がまとまりました。昨年度の決算を振り返り、市民の皆さんに納めていただいた税金がどのように使われたのかお伝えします。
問合せ 市庁舎本館3階 財政課 Tel.0897-52-1272



特別会計、企業会計、市の財産・借金などの詳細

●特別会計の決算状況

会計名	歳入	歳出	差引
国民健康保険	119億8,482万円	119億5,444万円	3,038万円
介護保険	119億6,284万円	116億6,572万円	2億9,712万円
港湾上屋事業	551万円	550万円	1万円
ひうち地域振興整備事業	1億 809万円	1億 809万円	0 円
土地開発事業	5億 5万円	5億 5万円	0 円
小松地域交流事業	1,833万円	1,833万円	0 円
本谷温泉事業	5,476万円	5,476万円	0 円
畑地かん水事業	2,332万円	1,037万円	1,295万円
庄内財産区	88万円	88万円	0 円
壬生川財産区	399万円	283万円	116万円
後期高齢者医療保険	16億6,031万円	16億2,555万円	3,476万円
合計	263億2,290万円	259億4,652万円	3億7,638万円

●市の財産

土地	2,912万9,282㎡
建物	52万2,674㎡
基金	165億413万円
有価証券	2,424万円
出資金	2億1,962万円
債権	13億9,148万円

●市の借金（市債現在高）

一般会計	605億4,503万円
特別会計 計	1億7,556万円
合計	607億2,059万円
市民1人当たりの借金	57万8,539円

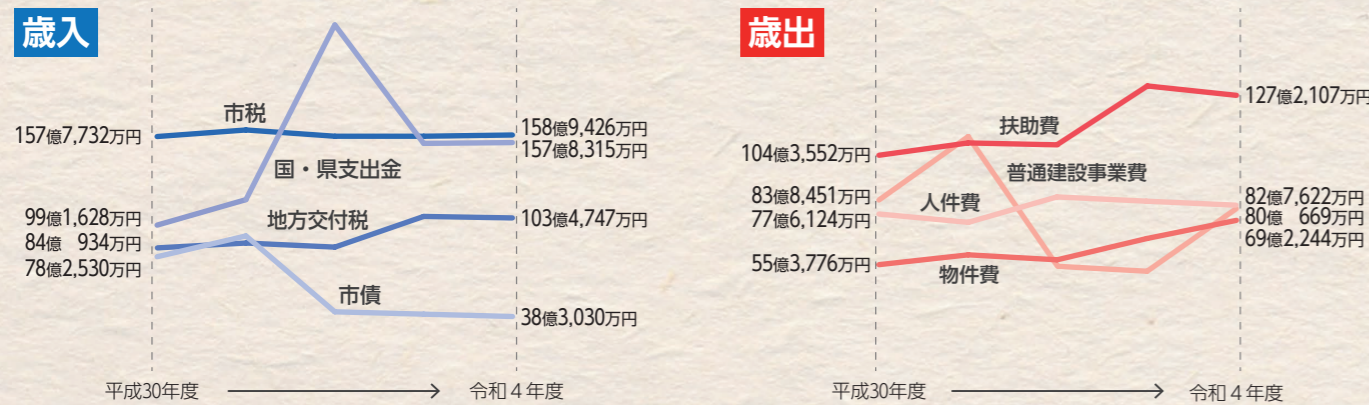
※企業会計を除く

※収益（料金収入など）では運営が難しいため、一般会計から財源不足額を補てんするもの

●企業会計の決算状況

区分	収支の種類	収益	費用	当期純利益・損失	企業債現在高	財源補てん※
水道事業会計	収益的収支	10億9,335万円	9億4,061万円	1億 559万円	52億4,938万円	0 円
	資本的収支	4億2,651万円	10億2,279万円	—		
公共下水道事業会計	収益的収支	24億2,362万円	24億3,352万円	△5,274万円	181億3,724万円	9億7,521万円
	資本的収支	16億9,892万円	24億5,864万円	—		
病院事業会計	収益的収支	1億4,681万円	1億7,954万円	△3,273万円	7億3,977万円	5,891万円
	資本的収支	3億2,338万円	3億7,845万円	—		

5年間の主な歳出・歳入の推移



持続可能な財政 基盤の確立へ

令和4年度と令和3年度を比較すると、歳入・歳出ともに決算額が増加となりました。歳出では、道前クリーンセンターの整備や小学校の施設長寿命化など、大型事業の実施により普通建設事業が大幅に増えたことから、歳出全体で前年度比2・7%の増加となりました。また、令和4年度も新型コロナウイルス感染症対策や物価高騰などへの対応も引き続き実施したことから、過去2番目に大きい決算額となっています。

併せて、歳入についても、繰入金などの増加により、前年度比3・1%の増加となりました。

今後は、物価高騰などへの対応や増加が見込まれる社会保障経費や公債費へ備えつつ、将来世代に過度な負担が残らないように、歳入水準に見合った「歳出改革」を継続し、持続可能な財政基盤の確立を目指します。

令和4年度に実施した主な事業

※新型コロナウイルス感染症対策や物価高騰などへ対応した事業

総務費

SAIJO BASE (ひと・夢・未来創造拠点複合施設)

- 「SDGs × DX」による持続可能なまち西条推進事業※ 2億166万円
- ひと・夢・未来創造拠点複合施設管理運営事業 2,894万円

民生費

子育て世代を支援

- 電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金支給事業※ 8億2,618万円
- 子育て世代応援給付金支給事業※ 1億3,743万円
- 中学3年生までの子の保護者へ1人当たり1万円支給

衛生費

新しくなった家庭系ごみ袋

- 道前クリーンセンター整備事業 33億7,603万円
- 施設の安定的な稼働運営を行うため基幹的設備の改良
- ごみ収集運搬事業 3億8,845万円
- 家庭系ごみ収集、粗大ごみ別回収など

商工費

地域経済を活性化

- 地域消費喚起対策事業※ 2億8,819万円
- LOVE SAIJOポイント還元による消費喚起
- 宿泊等促進事業※ 7,974万円
- 市内宿泊施設利用者へ宿泊費と飲食費などを助成

消防費

消防本部の緊急通信指令システム

- 消防施設管理費 2億6,110万円
- 消防緊急通信指令システムの改修など
- 消防車両等整備事業 4,097万円
- 高規格救急自動車などを更新整備

教育費

改修が完了した丹原小学校

- 小学校施設長寿命化事業 12億8,107万円
- 施設の長寿命化を図るための改修
- (仮称)東部給食センター整備事業 3,781万円
- 令和7年9月供用開始を目指し、モデルプランを策定